

# クリンドライに関するQ&A

## 成分/属性

---

- Q ClinDryって何ですか？  
A ClinDryとはフッ素系クリーニング専用溶剤です。
- Q ClinDryの成分は何ですか？  
A ClinDryはHCFC-225が主成分です。
- Q ClinDryとAK-225の違いは何ですか？  
A AK-225というのは精密洗浄用に開発された溶剤で、ClinDryはクリーニング用に開発された洗浄剤です。
- Q ClinDryの沸点、及びK B 値（カウリブタノール値）はいくつですか？  
A 沸点は54℃です。K B 値は31です。

## 規制

---

- Q ClinDryの法規制はどうなっていますか？  
A ClinDryは不燃性ですので消防法に該当しません。また、労働安全衛生法など、ご使用に当たってお客様での法規制は全くありません。私どもメーカーが、オゾン層保護法による2020年の製造中止に該当するのみです。（PRTRには、第一種指定物質に該当します。）
- Q ClinDryは安全面で問題はないですか？  
A 国際的な毒性評価試験を終了していますが、ご使用上十分注意して下さい。
- Q ClinDryの作業環境濃度は何ppmですか？  
A 労働安全衛生法では規制はございません。メーカー推奨値は100ppmです。法定作業環境濃度はありません。
- Q ClinDryはいつまで使えますか？  
A 2020年に生産が全廃となりますが、備蓄分については使用が可能です。

## 購入方法

---

- Q ClinDryを使いたいのですが、どこに問い合わせをすれば良いのですか？  
A R-113を購入されていた機材商さんにお問い合わせ頂くか、もしくは旭硝子よりご購入窓口店をご紹介します。
- Q ClinDryの荷姿、納入方法はありますか？  
A 荷姿は18Kgのペール缶のみで、1缶からでもすべてのお客様へ直送します。

## 洗浄機

---

- Q ClinDryの専用ドライ機（もしくは洗濯機）はどこが製造または販売していますか？  
A (株) ジャヴス、(株) 東京洗染機械製作所の各メーカーにお問い合わせください。
- Q ClinDryのドライ機はどのメーカーのがいいのでしょうか？  
A 各社、それぞれ特徴を出しているように聞いております。各社にお問い合わせ頂き、工場にあったものをお選び下さい。
- Q 今使っているフッ素機を、ClinDryで使えますか、また改造はできますか？  
A 基本的には使えますが、パッキン類などのゴムやプラスチックの交換が必要です。今ご使用のフッ素機のメーカーさんに、お問い合わせ下さい。
- Q ClinDryとR113とのブレンド使用は可能でしょうか？  
A 使用可能です。  
(衣類に対して)  
クリンドライの割合が20～30%以上に増加した時点でクリンドライ使用基準に従った衣類（材質）の選別をお願いしております。  
(洗浄機に対して)  
パッキン、シール材等の洗浄機の仕様については洗浄機メーカーさんにご相談ください。

## その他

---

- Q ClinDryの廃液は引き取ってくれますか？  
A 一般的にドライ洗濯機は、回収率が高いため廃液がほとんど出ません。蒸留釜のスラッジが出るだけです。従ってクリンドライ廃液を引き取る予定もございません。スラッジはいままで通り産業廃棄物として処理して下さい。
- Q ClinDryはシミ抜きに使えますか？  
A 使用後不具合が起こることも想定されるため、シミ抜きでのご使用はメーカーとして推奨できません。